



日本建築家協会(JIA)建築家クラブ金曜の会 トークイベント
「聴竹居」ほか“建築・愉しむ”活動 — 阪神淡路大震災が端緒—

松隈 章 氏



紅葉に包まれた藤井厚二の自邸「聴竹居」1928年(京都府大山崎町)

■講師プロフィール



松隈 章
まつくま あきら



レストラン&ハウスウェディングとして保存・再生・利活用「ジェームス邸」1934年&2012年(神戸市垂水区塩屋町)

株式会社 竹中工務店 設計本部 設計企画部 副部長
公益財団法人 ギャラリーA4 企画マネージャー兼務。一般社団法人住宅遺産トラスト 監事
聴竹居倶楽部 代表。八木邸倶楽部 代表。後山山荘倶楽部 共同代表

1957年兵庫県生まれ。1980年北海道大学建築工学科卒業後竹中工務店入社。大阪本店設計部、本社・企画室、本社・地球環境室などを経て2010年より本社・設計本部所属。設計業務の傍ら近代建築の保存活用やギャラリーA4での企画展をはじめとする数多くの建築展に携わる。特に藤井厚二「聴竹居」では地元・大山崎町のボランティア組織・聴竹居倶楽部を立ち上げ、保存公開を続け、2013年6月には天皇后陛下の行幸啓に際し案内役を務めた。主な著書に『聴竹居 藤井厚二の木造モダニズム建築』平凡社コロナブックス、『環境と共生する住宅 聴竹居実測図集』彰国社(共著)、『16人の建築家-竹中工務店設計部の源流』井上書院(共著)がある。建築作品「瀧定大阪株式会社高槻寮」「ジェームス邸」で建築学会作品選集。

1995年1月17日午前5時46分 阪神淡路大震災発生。神戸市垂水区塩屋町の自宅で遭遇し、その時から建築に対する人生観が変わりました。同年、被災し半壊した武田五一「芝川邸」(兵庫県西宮市)の実測調査への参加が、それまで前だけを向いていた「設計業務」への専心から「近代建築」「建築保存」へと視野を広げてくれました。

ここでは、1996年以来続けている藤井厚二「聴竹居」の保存・公開を中心に、公私にわたり幅広く日々実践している「建築・愉しむ」活動をご紹介します。

- 日時:2015年10月28日(水)19:00-21:00 (18:30開場)
- 場所: 日本建築家協会 JIA館1F建築家クラブ
渋谷区神宮前2-3-18 TEL:03-3408-8291
- 主催:建築家クラブ運営WG、協賛:NPO建築家教育推進機構
- 参加費:1500円(学生1000円)飲食物代等
- CPD:認定プログラム 2単位
- 参加申込:誰でも参加可能です。JIA 会員以外の方は氏名、所属、連絡先をご記入の上、下記まで申込みください。なお、事前申し込みが間に合わない場合、当日参加も可能です。
- 申込、問合せ:t-arch@hidakaoffice.com (金曜の会:日高)
当日連絡:090-2542-9578

